

ユニラントCCMシステム

概要 説明書

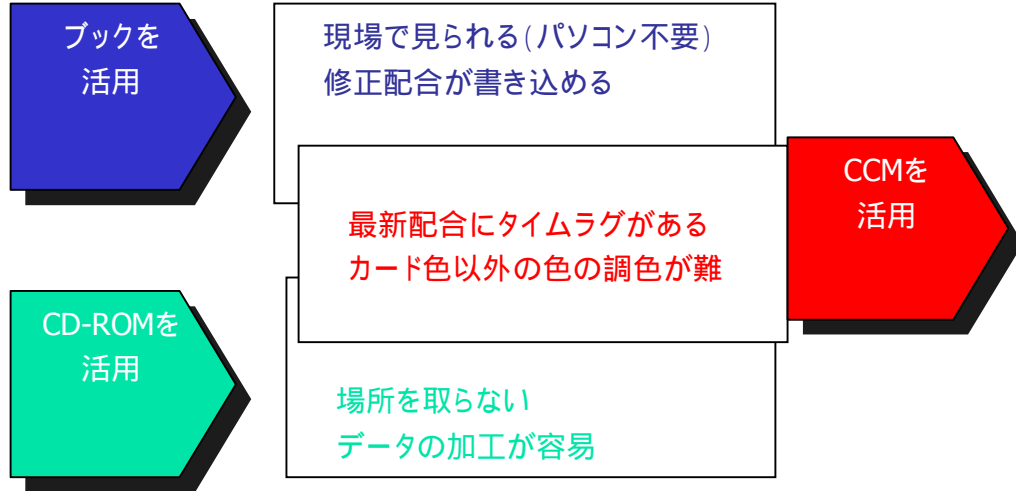
横浜化成株式会社

機器構成(推奨)

- パソコン本体
 - CPU : Celeron 2GHz
 - メモリ : 256MB
 - HDD : 20GB
- 15インチ液晶ディスプレイ
- A4モノクロページプリンタ
- 光磁気ディスクドライブ640MB
- 分光測色機(ミノルタ CM-2500d)



ユニラントの配合処方について



機能

初回CCM計算

使用する白塗料を指定し、カラーカードや塗装板を測色してユニラント配合を計算

実績配合検索

一度色が合った配合を記憶しておくことにより次回注文時にその配合を活用

補正CCM計算

初回CCM計算でテストピースを作成し、色の評価と、さらに色を近づける補正配合を計算

残塗料利用CCM計算

残塗料や余剰塗料にユニラントを添加して別色に作り変える配合を計算





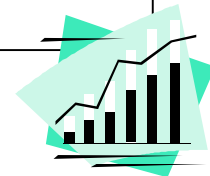
導入目的・課題

- 短納期化に伴う調色のスピードアップ
- 小ロット化に対応して調色件数増加
- 色違いクレームの削減と色品質の向上
- 調色技能者の不足、育成



導入効果

- 製造量調整機能により、作り過ぎを防止
- 残塗料を有効利用
- 実績配合記憶-リポートを効率良く調色
- カラーカード以外の調色を効率的に処理
- 未経験者による調色業務対応



特長



- 親切設計**
 - 操作は非常に簡単でコンピュータの専門知識や調色経験が不要
- ビジュアル**
 - CCM計算結果や色管理データをグラフやカラーイメージパッチを使ってビジュアルに表示
- 現場主義**
 - 作り過ぎ防止、繰り返し処理の自動入力、差し色補正、残塗料の再利用など現場作業にきめ細かに対応
- データベース**
 - 調色後、実績色の情報をワンタッチで登録できるのでリピートオーダーに迅速に対応

フロー

